

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上 方

福田三男会長の新年挨拶

明けましておめでとうございます。

私にとっては七十数回目の新年で、たいした感動もないと思っていたのですが、元日の朝を迎えると、やはり新鮮で特別な気持ちになるのは不思議なことです。

年々歳々。要するにマンネリです。人生がマンネリ化した結果、感動が薄れていることの証拠でしょう。

コロナのくびきから解放された昨冬、しばらく足が遠のいていた東京に出かけました。東京に住んだ若い頃、毎日利用した駅に着いて驚きました。新たに駅ビルが建てられたため、駅の構造がすっかり変わっていて、出口がわからないのです。ようやく階段を上って外に出でたとき、再び目を疑いました。昔からあった商店街が消えて、高層ビルが何棟も建っていたのです。老舗の料亭やホテルも姿を消して、小さな喫茶店だけが昔のままに残されていました。

あらゆることが、コロナで停滞していたこの数年間でしたが、街は人知れず、活動を続けていたのだと思いました。ノスタルジーをくすぐられると同時に街の、つまり人間の営みの確実さに少し感動したのです。

世界には戦争があり、疫病があり、環境問題があります。我々は世の中の動きから無縁でいることはできませんが、それに一喜一憂するばかりでなく、止まることなく進んでいくことが大切なのだと思います。

2024年は、変わるのか、変わらないのか。分かりませんが、変わるには、変えようという意思が大切なのでしょう。年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず。

福田 三男

※ この文章は本年1月1日に協会の公式ホームページへアップロードされました。

朝明第12号合評会・新春懇親会を開催しました

1月14日(日)午後1時30分から、宇都宮市の栃木県青年会館(コンセーレ)において、朝明第12号合評会・新春懇親会が開かれました。

合評会には19名の出席者がありました。福田三男会長の挨拶の後、三上博史朝明編集委員長の進行により意見が交わされました。

まず三上委員長から、配付資料に基づいて①装丁・表紙、②特集「再スタート」、③部門別作品、④編集及びその他全体的な評価・印象等の項目に沿って説明がなされました。

出席者からの意見は、さきやみつえさんの人形写真が従来のものとイメージが異なって好評だったこと、特集の「再スタート」には、会員それぞれのいろいろな思いが寄せられたこと、小説部門の作品が増えて活性化が図られていることなどが、これらに基づいて活発に意見交換がなされました。

最後に、出席者が一堂に会して記念写真を撮って終了となりました。

新春懇親会はコロナ禍により4年ぶりの開催となりました。14名の参加がありました。懇親会としては昨年8月の暑気払い以来となりましたが、大いに盛り上がり、会員相互の親睦が図られました。

※ 合評会において配付された資料「朝明第12号への意見・感想」を同封しましたので、参加できなかった方はご覧になってください。

役員会を4月13日(土)に開催します

栃木県文芸家協会役員 各位

栃木県文芸家協会会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、栃木県文芸家協会役員会を以下のとおり開催いたします。役員においては、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

役員向けに同封した出欠の返信ハガキを4月8日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

1. 日時 令和6年4月13日(土) 午後1時30分～3時
2. 場所 宇都宮市中央生涯学習センター[宇都宮市中央1-1-13 /TEL 028(632)6331]
3. 議題 (1) 令和6年度栃木県文芸家協会総会審議案件について
(2) その他

令和6年度総会・懇親会を5月19日(日)に開催します

栃木県文芸家協会会員 各位

栃木県文芸家協会会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、令和6年度栃木県文芸家協会総会を以下のとおり開催いたします。会員においては、万障お繰り合わせの上ご出席くださるよう案内いたします。

1. 日時 令和6年5月19日(日) 午後1時30分～2時40分(総会)
午後3時～4時30分(懇親会)
2. 場所 栃木県青年会館(コンセーレ) [宇都宮市駒生1-1-6/TEL 028(624)1417]
/JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院駒生」行きに乗車し「東中丸(コンセーレ前)バス停」下車 * 駐車場有り
3. 議題 (1) 令和5年度栃木県文芸家協会事業報告について
(2) 令和5年度栃木県文芸家協会収支決算報告について
(3) 令和6年度栃木県文芸家協会事業計画について
(4) 令和6年度栃木県文芸家協会収支予算について
(5) 任期満了による役員改選について
(6) その他(夏季講演会、朝明第13号の編集方針等)

○ 懇親会費 5,500円(当日支払い、無断キャンセルした場合は実費を請求します)

※ 総会・懇親会への出欠については、同封した返信ハガキを5月13日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

§ 新会員紹介 § ・小説部門 永井 想[宇都宮市]、くぼかわ けんいち[宇都宮市]

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

朝明第12号の在庫がまだ30冊あります。協会の安定的な運営のため、さらに新会員を勧誘するためにも、ぜひ追加で注文されるようご案内します。

令和6年度年会費納入の通知は、諸般の事情により次号(7月1日発行)にて掲載いたします。悪しからずご了承ください。

本号をもって、私のとちぶん会報の編集は終わりとなります。6年間、いろいろと不備な点多々あったかと思いますが、何とか務めることが出来ました。役員・会員の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

今後は、30年を超える私の川柳人生の総決算というほどではないのですが、今までに詠んだ自作を整理して句集を上梓する予定です。かなりの作業量になると見込まれるので、それなりに覚悟しております。(三上)